

製品名: SH2D1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02596**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	SH2D1A
別名	LYP; SAP; XLP; DSHP; EBVS; IMD5; XLPD; MTCP1; XLPD1; SAP/SH2D1A
遺伝子 ID	4068
SwissProt ID	O60880
免疫原	ヒト SH2D1A/SAP の合成ペプチド

背景

SLAMF1、CD244、LY9、CD84、SLAMF6、SLAMF7 などのシグナル伝達リンパ球活性化分子（SLAM）ファミリーの受容体を制御

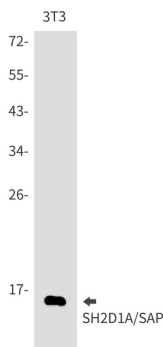
する細胞質アダプター。SLAM シグナル伝達は SH2D1B/EAT-2 と協調的に働くと考えられている。当初、SLAMF1 との結合により、INPP5D/SHIP1 や PTPN11/SHP-2 などの阻害性エフェクターへの SLAMF1 の結合が阻害されると提唱されていた (PubMed:11806999)。しかし、同時相互作用により FYN をリクルートし、SLAMF1 をリン酸化して活性化する (PubMed:12458214)。CD244/2B4 および CD84 を介したナチュラルキラー (NK) 細胞の機能を正に制御する。また、CD48、SLAMF6、LY9、および SLAMF7 を介した NK 細胞の活性化も促進する。NK 細胞を介した細胞傷害活性においては、標的細胞との複合体形成を促進します。また、神経栄養因子受容体 NTRK1、NTRK2、NTRK3 の活性を調節する可能性もあります。

研究分野

心血管系

画像データ

SH2D1A 抗体を使用した 3T3 溶解物中の SH2D1A/SAP のウェスタン プロット分析。



SH2D1A/SAP 抗体を使用した MCF-7、C6 溶解物中の SH2D1A/SAP のウェスタン プロット分析。

